

株式会社 林商店
〒939-1505
南砺市長源寺77
TEL0763(22)2330
FAX0763(22)7678

社長のひとこと

信じられないニュースが現在世界中を不安にさせています。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻です。何の罪もない多くのウクライナ市民の命が奪われています。様々な背景があるにせよ、このような暴挙が許されるべきではありません。一刻も早く停戦し、平穏に暮らせる日が訪れることを祈っています。

人は誰かを幸せにするために生まれてきたのです！

☆今月の癒しフォト



【お問い合わせ先】

フリーダイヤル

ゼロゴミ ナエコ

0120-053-785

～ウクライナ危機による世界情勢不安～

柔らかな日差しが暖かさを増し、春の息吹を感じる季節になりました。そんな中ウクライナでは悲しい出来事が起きています。ロシアによる軍事侵攻は資源業界にも大きな影響が出てきそうです。そんな3月上旬の市況情報をお伝えいたします。

■古紙

ウクライナ危機の影響はほぼないと思われるが、長期化するとその限りではないと商社筋から情報がありました。輸出価格がジリジリと値上がりしています。国

の輸出環境の変化を注視しています。しかし雑誌古紙だけは輸出環境が悪く、発生期となる春を迎えるにあたり不安視されています。

■鉄スクラップ

2月後半から値上がりし続けていた鉄スクラップ価格はやや値を下げているのですが、ウクライナ危機で今後更なる高値にシフトするのではないかと予測をしています。EU 諸国や、世界各国のロシアへの経済制裁の影響はかなり深刻なものになると予測されています。一時的には鉄スクラップの価格は上昇する見方が強くなっています。そんな中トルコの購入意欲が高まっており、今後の動向に要注目です。

■非鉄スクラップ

ウクライナ危機の影響が最も出そうなのがアルミです。経済制裁を受けるロシアはアルミの一大生産国です。ロシアから輸入を中止する国が続出することが予想されるため、先物相場は既に値上がりしており、最高値を更新しています。ウクライナ危機から緊迫する世界情勢を背景に、この春は激動の嵐が世界を吹き荒れそうです。



集団資源回収の改革プロジェクト

町内会や婦人会等で行われる「集団資源回収」は日本特有の文化であり、素晴らしい古紙回収の仕組みであると確信をしています。この集団資源回収は、土日に行われることが多く、古紙業界は慢性的に「休みが無い業界」になっています。再生資源を扱う業界のなかでも古紙だけがそのようなことになっており、人手不足問題の大きな障害となっています。当社では令和4年の4月より「集団資源回収プロジェクト」として以下のことに踏み切ります。

- ① 回収作業の平日化を推進
- ② 受入停止日を設ける
- ③ 回収エリアの集約

①は日曜日の回収作業を平日にシフトしていき、日曜日の回収作業を減らしていくという試みです。回収場所等の問題で容易には行かないと思いますが少しずつ進めていきます。

②は回収作業を行わない日(受入停止日)を設け、休日出勤の回数を減らすと共に、集団資源回収自体の集約をおこなうということです。

③は現在エリア関係なくお客様

の希望日通りに作業を入れています。効率悪化の大きな要因になっています。エリア毎に集約することによって作業の効率を上げ、スピーディーな作業につなげていきたいと考えます。今後集団資源回収で集められる古紙の数量は右肩下がりに減っていきます。持続可能な地域社会創造に向けてこの問題に対して全力で向き合っていきます！

